

2014 年 6 月 27 日

大学コンソーシアム京都が行うインターンシップ事業とその実務について

I. 大学コンソーシアム京都のインターンシップについて

1. はじめに

大学での学習内容や専門分野が実社会でどのような意味を持つのかを、社会での実体験を通して考え、その後の学びに結びつけることを目標としている。「働く」「仕事」というものを実体験を通して理解することで、卒業後の進路選択に役立たせることを目指す。

就職活動としてのインターンシップではなく、大学教育の一環として位置づけている。単なる就業体験（実習）だけではなく事前学習⇒実習⇒事後学習という一連の流れで実施しており、「学習意欲の喚起」「高い職業意識の育成」「自主性・独創性のある人材育成」を目的としている。

2. コースについて

【成果重視型】プログレスコースの流れ 5 か月のインターンシップで、企業が提示する テーマを実現するプロジェクト型		【実践型】ビジネス・パブリックコースの流れ 夏期期間中に2週間～1ヶ月行うインターンシ ップ	
プロジェクト導入		事前学習 (3日間：13コマ)	実習に赴くにあたって、自らの課題を明確にする場
プロジェクト形成 プロジェクト実施	プロジェクトに応じて実習や事業のデザインを形成し、活動を明確にする。	実習 (実働10日間以上)	自らの課題を実践し、検証する場
フォローアップ	成果報告会に向けて、プロジェクトを整理	事後学習 (1日間：5コマ)	実習で得た経験をもとに、今後の学生生活を 送る新たな目標を設定する場
プロジェクト 報告・評価	参加者全員が、プロジェクトごとにプレゼンテーションを行い、その到達点等について、相互評価を行います。		

3. 事業規模について

4. インターンシップ研究会について

当プログラムの長期的な教育プログラムの方向性について組織的に検討する機関として、2007 年度より立ち上げられた。大学での教務委員会的な存在。

II. 量的拡大に向けた大学コンソーシアム京都での実務について

1. 学生の出願者増加に向けた取り組み

1) 加盟大学にて

① 出向ガイダンス

毎年、3 月末から 4 月にかけて行われる各大学における学生向けガイダンスに推進室職員が登壇し説明を行っている。2014 年度は計 16 回 2,449 人参加。プログレスコースについてはコーディネーターも同行する。

② 各大学に募集ガイド・ポスターの配布、掲示依頼

2) キャンパスプラザ京都での説明会

各大学でのガイダンスと同様に、キャンパスプラザ京都にて説明会を実施している。計 2 回 224 名参加。

3) Web エントリーの実施

2014 年度よりスマホなどで、学生がなじみやすくなった Web インターフェイスを活用し、Web エントリーを導入した。手軽にエントリーしやすくなった結果、726 件（昨年度出願 115%増）の登録があった。

2. 受入れ先エントリー増加に向けた取り組み

年中を通して、受入れ先と財団が繋がりを持つ関係性を構築している。

1) 継続的な受入れ先とのコンタクト

① コーディネーター中間指導（8～9 月）

コーディネーターが担当クラスの受入れ先を実習中に訪問し、実習生、担当者と面談を行う。

② 財団職員全員による受入れ先訪問（11 月～1 月）

受入れ先については、次年度も受け入れて頂けるよう、現地に職員が出向くことを基本としている。

③ 新規受入れ先開拓のための訪問活動（10 月～3 月）

受入れ先、コーディネーター等から紹介のあった企業・団体を中心に訪問を行う。

2) エントリーサイト

受入れ先の事務的な負担軽減を目的とし、さらに円滑に手続きいただけるようシステムの構築を行った。利便性を向上させている。

3) 新規受入れ先への働きかけ

① 受入れメリットを明確に伝える

受入れ先にとってインターンシップは負担になるイメージが先行しがちである。受入れ先向けパンフレットを作成し、この取り組みのメリットを明確に正確に伝える。

② インターンシップ受入れ内容の相談

初めて参加される企業・団体ではプログラムの構築の仕方について、他社事例をもとに具体的なアドバイスを行う。学生への見せ方も検討する。

4) エポックメイキングな受入れ先の確保

象徴的な受入れ先は学生の受講動機を高めている。財団側より一程度の枠組みの提案を行うこともある。

3. より多く成立させるためのマッチングについて

- 1) 出願・面接 5月9, 10日(2014年度) ←600人以上の学生がこの2日間に来館する。
コーディネーター(33名) + 財団職員(45名)の全身体制で実施する。
 - ① 受入れ先の出願条件の確認 ←ミスマッチングの防止。
 - ② 5分ほどの面接で総合評価5段階と態度、信頼性、柔軟性を各3段階評価にて行う。
- 2) 受入れ先選考を通過していただくために
出願時の財団による面接に加えて、受入れ先が選考のための面接を実施したり、課題の提出を求められる。より学生の人物像を受入れ先に認識していただけるよう、財団での評価、志望理由、資格・技能等を付記し、付加価値をつけて受入れ先側にて学生を選考していただく。
- 3) コンソーシアム選考
教育目的を理解した受入れ先が、財団に学生選考の委託をする。コンソーシアム選考でエントリーのあった9割近くの受入れ先に学生を送っている。この選考での受入れ先を1つでも増やすのが財団としては重視している。
- 4) 二次マッチング
第1～3志望でマッチングできなければ、志望理由や選んできている受入れ先、出願・面接時の評価をもとに推進室より学生に受入れ先を紹介する。この二次マッチングで全体の2割ほどマッチング率を確保している。学生の志向や特徴を見抜く必要があり、結果的にミスマッチングでトラブルを発生してしまう学生がいる一方、修了式に感謝してくれる学生もいる。

4. 各大学にて正課カリキュラムとして成立させるために

- 学生にとって単位認定され、大学の正課活動として認められることは、大きな受講動機となる。そのため、財団では大学設置基準に準じたカリキュラムとして提供できるように以下の取り組みを行っている。
- 1) 単位認定できるよう制度設計
財団のインターンシップを大学のカリキュラム(科目)として位置づけられるよう、各大学と委託契約を締結している。
 - ① インターンシップ・プログラム 委託契約について
 - ② 科目担当者会議について
 - 2) 講義計画(シラバス)設計
インターンシップ研究会にて教務企画の検討を行い、講義計画を立てている。
 - 3) インターンシップ・プログラム成績評価基準について
各大学に対して本財団インターンシップ・プログラム受講生の成績を報告するにあたって、成績評価基準を定めている。
 - ① 実習状況報告書(受入れ先)
 - ② 大学コンソーシアム京都での成績評価について以上

以上

参考

平成 26 年度 インターンシップ等実務者研修会 大阪地区
 インターンシップの拡充グループ 事例発表②
 大学コンソーシアム京都 インターンシップ事業推進室

2014年度インターンシップ事業実施スケジュール
 (ビジネスコース・パブリックコース・プログレスコース)

2014年度のインターンシップ事業(ビジネスコース・パブリックコース・プログレスコース)につきましては、以下のとおり実施の予定です。なお、このスケジュールは変更の可能性がります。

大 学	大学コンソーシアム京都	受入れ先
4月	3月下旬～ 学生向けエントリー情報公開★ (本財団HPにて)	
	4月12日(土) プログラム事前説明会	
	4月16日(水) 受入れ先ご担当者説明会(全コース共通)	
	4月17日(木) プログレスコース説明会・プログレスコースご担当者会議	
5月	4月25日(金)～5月8日(木) 学生Webエントリーの受付	
	5月9日(金)、10日(土) 学生出願の受付	
	出願者一覧表送付 本財団→大学	
6月	選考(受入れ先の確定)	
	6月5日(木) 第1回科目担当者会議 受講生情報および 講義内容等の共有	5月31日(土) 受講許可発表
		6月6日(金)・7日(土) 受講手続
	受講生確定結果一覧表送付 本財団→大学	
	受講生確定通知送付 本財団→受入れ先	
7月	6月14日(土)・6月28日(土)・ 7月5日(土) (ビジネス・パブリック)事前学習	6月16日(月)～27日(金) (ビジネス・パブリック)学生事前訪問
	7月11日(金)・12日(土) (ビジネス・パブリック)学生のレポート受付	6月19日(木)・26日(木)・ 7月3日(木)・10日(木)・17日(木) (プログレス)講義
	協定書締結 受入れ先・大学・本財団の三者で協定を締結いたします。	
	8月中旬～9月中旬 (ビジネス・パブリック)実習/実働10日間以上 ※実習期間中に担当のコーディネーターが、 訪問します。 (プログレス)プロジェクト実施	
8月	実習後、学生の評価(ビジネス・パブリック) 受入れ先→財団	
	9月27日(土) 事後学習(ビジネス・パブリック)・懇親会 ※補講日:9月20日(土)	
	10月3日(金)・4日(土) 学生のレポート受付(ビジネス・パブリック)	
9月	実習後、学生の評価(プログレス) 受入れ先→財団	
	10月2日(木)・16日(木)・30日(木) (プログレス)講義	
10月	11月15日(土) (プログレス)成果報告会	
	11月20日(木) (プログレス) 学生のレポート・プロジェクト報告書受付	12月上旬～ 次年度エントリー開始★
11月	12月上旬頃 受入れ先ご担当者・大学ご担当者意見交換会(全コース共通) 受入れ先とともに意見交換し、目的の共有化を図ります。	
	12月中旬頃 成績表送付(全コース共通) 本財団→大学	
	12月12日(金) 第2回科目担当者 会議 プログラムの振 り返しおよび成 績配付	
12月	1月中旬頃 プログレスコース振り返り会	
	3月上旬頃 大学担当者会議	